

カメムシ類に確かな効果！斑点米対策に。

浸透移行性殺虫剤

農林水産省登録 第21259号



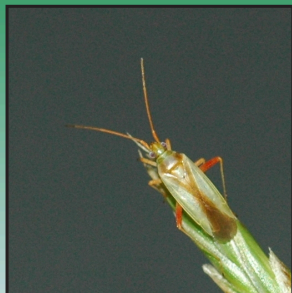
スタークル®

液剤10

®は三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社の登録商標



殺虫効果・吸汁阻害効果でカメムシ類を効率的に防除



アカスジカスミカメ



アカヒゲホソミドリカスミカメ



クモヘリカメムシ



ホソハリカメムシ



斑点米の増加は米の品質低下につながります。

カメムシ類の吸汁による斑点米





スタークル®

液剤10

有効成分：
ジノテフラン・・・10.0%

【適用内容】（一部抜粋）

2023年8月末日現在の適用内容

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量 (10a当り)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む 農業の総使用回数	
稲	ウンカ類、カメムシ類 ツマグロヨコバイ	1000倍	60~150L	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び 側条施用は合計1回以 内、本田での散布、空 中散布、無人航空機散 布は合計3回以内)	
	ウンカ類、カメムシ類	300倍	25L			無人航空機 による散布		
	ウンカ類、ツマグロヨコバイ ウンカ類	8倍	0.8L					
		16倍	1.6L					
		30倍	3L					
	ウンカ類、カメムシ類	8倍	0.8L					
30倍		3L						
さとうきび	カンシャコバナナガカメムシ イナゴ類	1000倍	100~300L		2回以内	3回以内	散布	5回以内 (粒剤は2回以内、液 剤、水溶剤及び水和剤 は合計3回以内)
		14倍	2.4L				無人航空機 による散布	
だいず えだまめ	カメムシ類 ダイズサヤタマバエ フタスジヒメハムシ	1000倍	100~300L		2回以内	3回以内	無人航空機 による散布	(は種時の土壌混和は 1回以内、散布、空中 散布、無人航空機散 布は合計2回以内)
		8倍	0.8L				空中散布	
		だいこん	アブラムシ類				8~16倍	
無人航空機 による散布								
無人航空機 による散布								
無人航空機 による散布								
キャベツ	アブラムシ類	8~16倍	1.6L	2回以内	無人航空機 による散布	散布	3回以内 (育苗期の株元散布、定植時 の土壌混和及び灌注は合計 1回以内、散布及び無人航 空機散布は合計2回以内)	
無人航空機 による散布								
無人航空機 による散布								
ブロッコリー	アザミウマ類	10~16倍	1.6L	2回以内	無人航空機 による散布	散布	4回以内 (は種時の土壌混和、育苗ト レイへの灌注及び定植時の 株元散布は合計1回以内、 生育期の株元灌注は1回以 内、散布、無人航空機散布 及び定植後の株元散布は合 計2回以内)	
無人航空機 による散布								
ねぎ	アザミウマ類	10~16倍	1.6L	2回以内	無人航空機 による散布	散布	4回以内 (は種時の土壌混和、育苗ト レイへの灌注及び定植時の 株元散布は合計1回以内、 生育期の株元灌注は1回以 内、散布、無人航空機散布 及び定植後の株元散布は合 計2回以内)	
無人航空機 による散布								
らっきょう	アザミウマ類、ハモグリバエ類	8倍		収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
いね科牧草	アブラムシ類		100~300L	収穫7日前まで				
※水田作物、畑作物 (休耕田)	カメムシ類	1000倍	60~150L	-				

※水田作物、畑作物(休耕田)の適用場所はコシ、オキ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田です。

【効果・被害等の注意】

- 使用量にあわせて薬液を調製し、使い切ってください。
空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 - 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - 散布にあつては、散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - 散布薬液の飛散によって動植物及び自動車やカーポートの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - 散布終了後は次の事項を守ってください。
 - ①使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。
 - ②機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 本剤を希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

【安全使用上の注意】

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
- 魚毒性等:水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
空中散布又は無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
散布後は水管理に注意してください。
使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管:直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。
●使用後の空容器は圃場等に放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。 ●防除日誌を記載しましょう。